資料15

大津市子ども読書活動推進計画（第五次）基本目標・基本方針 検討資料

●基本目標

【現計画】
楽しく読書ができる環境づくりを進め、本が大好きな大津っ子を育みます

第四次計画と同じ目標

【次期計画　基本目標】（再考案）
楽しく読書ができる環境づくりを進め、本が大好きな大津っ子を育みます

【子ども読書活動推進委員会（7/31）での意見】
- もう少し分かりやすい、具体的な目標の方がよい。
- 色々と盛り込むと目指すものが不明確になるため、内容を絞った方がよい。
- 「親しむ」は目標ではなく土台である。
- 人と本の関係は、本に「触れる」「見る」「読む」と年代ごとに変わっていくため、「読書」とは分けて考えた方がよい。
- 子ども読書推進のための目標か、心豊かな子どもを育てる目標か分かりにくい。

【基本目標】（案）　※担当者会議時提案
どの子も本に親しみ、自ら読書を楽しめる、心豊かな大津っ子を育みます

★基本目標に反映する内容
- 全ての子どもたちが本に触れられる環境整備
- 子どもの主体的な読書活動の推進
- 子どもが心豊かに生きる力を育む支援

★上位計画等の内容
- ●第4期大津市教育振興基本計画/大津市教育大綱
- ●大津市生涯学習推進計画
- ●社会教育委員会議による建議（令和6年6月）
- ●大津市総合計画第3期実行計画
- ○国・第5次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」
- ○県・第5次滋賀県子ども読書活動推進計画

●基本方針

【現計画】
（1）　子どもの発達段階に応じた読書活動を推進します
（2）　家庭、地域、学校を通じた社会全体で取り組みます
（3）　子どもの読書活動を普及・啓発します

全ての子どもが読書を楽しめる環境を！
まずは子どもに本を手に取ってもらうためにできることを！

【次期計画　基本方針】（検討結果）

●読書環境の整備・読書機会の提供
- ①　豊かな読書体験ができる環境と機会の充実
- ②　子どもと本をつなぐ取組の推進
- ③　読書を通じたコミュニケーションの機会の創設
- ④　子どもの発達段階に応じた読書活動の支援
- ⑤　多様な子どもたちに寄り添った読書環境の整備
- ⑥　デジタル社会に対応した紙書籍と電子書籍のハイブリッドな読書環境づくり

基本方針1 読書の環境整備と機会の充実に関する事項

●人材育成
- ⑦　子どもの読書に関わる担い手の育成

基本方針2 人材育成に関する事項

●子ども視点の読書活動推進
- ⑧　子どもの視点に立った読書活動の推進（国の基本方針４）
- ⑨　子ども主体の読書環境の構築

●子ども読書活動の普及啓発
- ⑩　社会全体で読書活動推進に取り組むための周知啓発
- ⑪　子ども読書活動に関する広報・啓発活動の推進
- ⑫　身近な大人への読書に対する意識啓発と広報の推進

基本方針3 普及啓発に関する事項

●推進体制等
- ⑬　関係機関の連携・協力体制の強化
- ⑭　家庭、地域、学校等が連携した社会総がかりによる読書活動の推進

★アンケート調査結果及び子ども読書活動推進委員会（7/31）での意見

【読書活動推進委員会・担当者意見】
- 現在の子どもの読書状況には非常に厳しいものがある。他に娯楽が多い中で「本」を選んでもらうことは難しい。
- 就学前の働きかけが重要だが、本を読まない保護者が増える中、子どもが家庭で読書習慣を身に付けることは難しい。いかにして本と出会う機会を作るかが課題。
- 「読書を通じたコミュニケーションの機会の創出」も大切だが、まずは子どもに本を読んでもらえるようにすることが先ではないか。
- 「自ら読書を楽しめる」というのは、恐らく本計画が目指すの最終的な子どもの姿。現状を考えると、第五次計画での達成は難しいのではないか。
- どうすればわが子に読み聞かせをする親になってもらえるか、その方法を考えることが計画の目標や方針になる。

★【検討材料】基本方針に掲げる事項　※国・県・他都市方針等参考

①　読書環境の整備

●子どもが気軽に本に触れることができる環境を整えること
- 自ら読書の機会を得にくい子どもたちの環境整備
- デジタル社会に対応した読書環境の整備
  - ・デジタル社会に対応した紙書籍と電子書籍のハイブリッドな読書環境づくり
- 本に親しむ場所の確保
  - ・子どもの居場所として機能する場所
  - ・地域における保護者の居場所として機能する場所
  - ・ボランティアが活動できる場所

【目標達成後の姿】
- 全ての子どもが気軽に本に触れられる
- 読みたい本がすぐに読める
- 紙媒体や電子媒体を柔軟に選択して読書ができる
- 必要な情報を調べられる
- 読書の拠点や自由に読書ができる場所がある
- 読書推進活動を通して地域等に居場所ができる

②　読書機会の提供

●子どもが読書を楽しむ機会をつくること
- 家庭・地域・学校における絵本の読みきかせ、おはなし会、朝読書等、子どもが本に親しむ機会の創出

【目標達成後の姿】
- 豊かな読書体験が得られる
- 本の面白さをについて語り合える機会や仲間ができる
- 地域性に応じた取組があり気軽に参加できる

③　子ども読書活動を支える人材の育成

●子どもの読書活動の推進に関わる担い手を育てること
- 学校園、教育・福祉施設等職員への研修
- 読書ボランティアの育成
- 保護者への読み聞かせや選書等に関する助言

【目標達成後の姿】
- 読書の楽しさを教えてくれる大人が近くにいる
- 家族が読み聞かせをしてくれるようになる

④　子どもの視点に立った読書活動の推進

●子どもの意見を政策や取組に反映させる

【目標達成後の姿】
- 本を好きになるきっかけ、選ぶ自由が増える
- 読書が好きになり、自分から本を読みたくなる

⑤　子ども読書活動の普及啓発

●社会全体で読書活動推進に取り組むための周知啓発
- 子どもが読書に親しむための情報収集・発信
- 身近な大人への読書に対する意識啓発と広報の推進

【目標達成後の姿】
- 読書の重要性を理解する大人が増える
- 子どもに対して読書を勧める大人が増える